

鹿ノ台川柳教室 四月度句会

四月十五日(月) 奈良公園吟行時提出句

宿題「桜」(連記)

山神春代選

桜よりさらに短い吾が盛り
 春は好い桜と言わず空気まで
 桜咲き巢立ち出合いで泣き笑い
 良寛に近づきました辞世の句
 夜桜につながる人の心の輪
 十八の二かいの女と覚えた字
 気がつけば葉桜だった受験どき
 花吹雪桜の嘘がばれている
 標本木咲いた咲かぬで平和な日
 散ってから満開に咲く回顧録
 太閤の贅の限りを見た桜
 未来へとつながる桜信じたい
 告白もためらいがちにさくら色
 夜桜よりもネオン気になる二人連れ
 夜桜の逢瀬楽しむ古希ふたり
 秀己の寿命知るかのように狂い咲く
 軸散ってなお水面にぎわす花いかだ

幸男
 えいじ
 よし尚
 充
 宏樹
 義雄
 千楽
 ちさと
 登美
 正清
 勝利
 よう子
 哲子
 アキラ
 広子
 乃り子
 春代

付度の用語を禁ず幹事長

掴みかけあと一ミリの爪の先

改憲を叫ぶ平和な強い国

髪染めてまだまだおんな洄れさせぬ

整理の手止めて想い出かけめぐる

プロが撮る見合い写真もそれなりに

静けさにもてあそばれて差し向かい

秀惜しまれず散る桜あり永田町

軸ブラックホール平成末にプレゼント

鹿ノ台川柳教室会員の新聞投句 掲載された句

(三月十八日〜四月十四日各紙掲載分)

朝日新聞 田中新一選

三月二十八日 題「削る」

すりこぎを見ると我が身につまされる

二番出汗承知で老いの身を削る

毎日新聞 山田順啓選

三月二十一日 題「うきうき」

春めいて草木も人も騒ぎ出す

三月二十八日 題「選ぶ」

行き先は天国地獄選べない

四月十一日 題「カード」

後編をドナーカードで生かされる

気前よく買ったカードの請求書

読売新聞 阪本高士選

三月三十一日 題「虫」

虫の目で狭く深くと読む社説

四月十四日 題「仕事」

食う寝るとちよつと遊びの大仕事

奈良新聞 居谷真理子選

三月二十日 題「ドラマ」

再放送二度観てやつと解る筋

三月二十七日 題「目指す」

合格を約するような塾チラシ

目に見えぬゴール目指して走り出す

東大を目指していたと自慢する

父ならばどうしたかなと思案する

指向性アンテナが向く暗い海

よし尚

正清

勝利

よう子

よう子

幸男

広子

千楽

乃り子

英二

義雄

アキラ

幸男

よう子

勝利

幸男

正清

英二

幸男

よう子

英二

アキラ

正清

宿題「若しや」

奥村義雄選

ひよつとして女の性がうずき出す
 来る宛のない返事待つもしかして
 女文字の手紙やっぱり請求書
 発見者通報をして怪しまれ
 もしかしてアポ電詐欺かベルが鳴る
 忘れまい父母らのなめた昭和の負
 困るなあもしや数独無かったら
 おれおれの電話切っても孫ではと
 虎の子をもしやの時に飼う老後
 若しかして出来たら困る長寿税
 あの前二人前はきつと犬と猿
 秀只今と帰らぬ筈の人の声
 軸年金崩壊うなされて見る怖い夢

宿題 自由吟

勝部乃り子選

元号より先に変えたい永田町
 タイにマス桜の季節花形に
 地場産の竹の子白く春さかり
 ツッコミの冴える妻いて磨くボケ

義雄
 充
 登美
 アキラ

三月二十七日 題「目指す」

合格を約するような塾チラシ

目に見えぬゴール目指して走り出す

東大を目指していたと自慢する

父ならばどうしたかなと思案する

指向性アンテナが向く暗い海

幸男

よう子

英二

アキラ

正清

四月三日 題「おまけ」

おまけの日々と思えば消えていく怒り アキラ
長生きに老老介護ついてくる よう子

四月十日 題「灰色」

子供用クレヨン灰色が余る アキラ
すずぼけて文字が消えてる借用書 正清

奈良新聞 自由吟

三月二十一日 米田恭昌選

艱難に耐えて溢れる人間味 よう子

赤錆びて歴史遺産か歩道橋 アキラ

泣きながら下りる階段わらう膝 幸男

足るを知り欲望すべて貯金箱 正清

四月十一日 大楠紀子選

介護誌の余白涙の染みがある よう子

空腹をいつも充たしている五欲 正清

美談にはいつも付いてる裏話 アキラ

マスクしてスッピン隠し歳隠す 幸男

* 橘正清、林勝利、前田幸男、

三氏は各紙の短歌俳句でも活躍

次回 五月二十日、十二時十五分開場、西集会所

宿題は「ランチ」、「流す」、「自由吟」各二句

* 席題 義雄選 十二時三十分お題発表

* 「ランチ」(連記) えいじ選

* 「流す」(互選)

* 自由吟(共選) 登美選 良一選

出句× 宿題・席題とも十三時

自治連合会公認クラブ。生駒番傘川柳会のご指導
を得て、日頃の生活を、思うことを、五七五に
句会のご見学、ご入会大歓迎、会費一ヶ月百円

問合せ

原 広子 (79・0061)

野々村詮 (090・6961・1292)